



2026年6月10日

各位

会社名 株式会社MJE
(コード番号 433A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 大知 昌幸
問合せ先 専務取締役管理本部長 竹中 洋介
TEL 06-6253-7701
URL <https://mjeinc.co.jp/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示

1. 当社の事業概要と上場の背景

当社は、「Makes Japan Energetic サービスやコミュニケーションを通じて世の中を元気にする」というビジョンを掲げ、「ワークプレイス（働く場）をよりよくすることで企業の成長に貢献する」ことをミッションとして、オフィスインフラサービスおよびシェアオフィスの提供といったソリューションを主たる業務として展開しております。

当社は創業以来、社会基盤を支える存在となれるようサステナブルな企業づくりに取り組んできており、より有用な企業経営の実現のために内部統制体制を整備し、その適正性の担保のため上場することが適正であると判断し、2025年10月15日付で、TOKYO PRO Market への上場に至りました。

2. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は将来的に一般市場に上場することにより、事業基盤の強化、内部統制体制の整備、情報開示の高度化を進めていきたいと考えております。現状、当社の事業規模や体制の整備状況を鑑みて、TOKYO PRO Market が当社にとって最適な市場であると判断しており、J-Adviser による継続指導を受けながら、内部統制・開示体制を段階的に強化してまいります。

また、東京証券取引所に上場することにより、社会の一定の信用を得ることで、今後の成長の鍵となる人員採用を加速させ、拠点展開やリーダーの輩出を実現し、中期経営計画の確実な成長と将来の成長投資の実行可能性を高めてまいります。

なお、一般市場上場の目標時期・市場に関しては未定であります。

3. TOKYO PRO Market 活用のための取組事項

当社は、現時点において中期経営計画の初年度計画として、2027年3月期に以下の業績計画を掲げております。

項目	金額（千円）
純売上高	5,539,929
売上総利益	1,827,355
販売費および一般管理費	1,773,870
営業利益	53,485
経常利益	35,551
当期純利益	20,358

当社は、2027年3月期計画を確実に達成し、さらにその先の成長を実現するために、注力する取り組み事項および評価指標を以下のとおり設定しております。

(1) 事業成長に向けた投資の強化

TOKYO PRO Market 上場により、人材採用にさらに注力し、拠点展開・事業成長に対して投資を実現できる体制を整備し、中長期的な成長を目指してまいります。

【取組事項】

- ・営業人員拡大および拠点長・チームリーダーの育成・輩出
- ・拠点展開準備（出店候補の選定・マーケット調査）

【評価指標】

- ・売上・利益計画の達成度（定量）
- ・営業人員の増員数およびチームリーダー輩出数の状況（定量）
- ・新規拠点を任せられる幹部候補（拠点長）の育成状況（定性）
- ・拠点展開準備の進捗（定性）

(2) 企業の信頼・信用力の強化

TOKYO PRO Market 上場により、財務・内部統制・情報開示の透明性を高め、企業としての信頼・信用力を高め、金融機関からの信用力向上、従業員の定着率の向上、取引先との契約交渉力の強化、仕入条件の改善および取引拡大の促進に取り組んでまいります。

【取組事項】

- ・金融機関との取引条件の良化
- ・従業員の定着率の向上
- ・仕入条件の改善および取引拡大

【評価指標】

- ・借入条件および取引条件の良化状況（定量）
- ・従業員の定着率の良化状況（定量）
- ・金融機関・取引先からの評価（定性）

(3) 管理体制および情報開示体制の強化

当社は、事業規模の拡大にともない、経営管理の高度化、組織運営の効率化、情報開示の適正化、サステナブルな企業づくりの実現に必要な次世代経営層の輩出が求められており、TOKYO PRO Market 上場を通じて、監査法人およびJ-Adviserの指導のもと、管理体制および情報開示体制の強化を推進してまいります。

【取組事項】

- ・ 経営管理体制およびリスク管理体制の強化
- ・ 情報開示体制の整備（人員補強）および透明性の向上
- ・ 次世代経営層（業務執行役員）の育成・輩出

【評価指標】

- ・ 開示書類作成担当の増員および作成期間の短縮（定量）
- ・ 経営管理プロセスの改善および内部統制体制の強化（J-SOX 対応）状況（定性）
- ・ 経営と執行の分離および取締役会構成人員の多様化（定性）

4. TOKYO PRO Market 上場目的の実現状況の継続的評価および開示

当社は、上記に掲げた各取組事項および評価指標について、毎事業年度において実施状況を検証し、適切に開示することにより、透明性の高い経営を継続してまいります。

以上